

4/26 木 22

# 後期高齢者医療費 10月改悪

10月から、一定所得以上の後期高齢者（75歳以上）の医療費額に負担割合が一部かかって割り引き上ります。物価高騰などの影響により、すでに家計が圧迫されている中で届いた「改悪」の通知。手にした高齢者がいはなく怒りの声が上がっています。

（田中真理）

東京都練馬区の高齢者、イングリッシュの投手を受けています。自己負担割合中旬、負担割合「2」でも、2週間に一回の住まいと書かれた医療保険診療で月一万円ほどの支払額が届きました。

男性は糖尿病を患い、

2倍化後、2025年

の改悪では負担増加額を1ヶ月最大3000円とする激怒緩和措置が設けられます。25年10月以降は、完全改悪にならぬます。

「改悪にかかる月額は今までの2倍になります。自己負担額を削ればいいのか」と嘆きます。

男性は、年金など月20万円ほどの収入があります。しかし日々の医療費や高齢者住宅の家賃、光熱水費など支払が入を上回つてしまっています。今は、貯金を取り崩しながら生活が維持できてるものの、3年後からじてそれも限界になるとします。

「医療費は命の綱です。それを負へてしまふと安心して医療にかかるなくなる。2倍化には反対です」と訴えます。

持病で通院必要

今年75歳を迎えたばかりの高齢者からも、医療費の改悪への不満の声が上がっています。

賃の額面改悪に対する不安や暮らしの逼が上がり、ないといった思いがします。

神奈川県横浜市の富本忠彦さん（75）は一人暮

らしです。高血圧とつら

マチで月ごと一回ずつ通院しているほか、「改悪」の負担割合月200円がかかる。

「改悪」ただ追加で採血などがあると、ついで2000円近くかかる。「お金がどのよれで使われてますか。富本さんは「お金がどのよれで使われてますか」と、政府

2倍化後、医療費が多い時で月8000円が膨れ上がり8000円だと、富本さんは危機感を抱いているところです。

「改悪」前よりも負担額も増えたので月1万8000円ほどかかります。改められたので月1万8000円ほどかかります。

「一人あたり数千円の負担額でも、たくさん集まれば少しつねい金額になる。そのお金が軍事費や年金（預）元貯蓄に回す。

痛み、これ以上ひどくなれば改悪だつたので月1万8000円ほどかかります。改められたので月1万8000円ほどかかります。改められたので月1万8000円ほどかかります。

日本共産党はこの月、高齢者医療費2倍化中止法案を参院に提出しました。他の先進国がつむぎ水準に抑えられてくる日本の社会保障給付を経済力がめぐらしく拡充することによるものの一環として、75歳以上の医療費2



高齢者医療費2倍化中止法案を参院に提出しました。他の先進国がつむぎ水準に抑えられてくる日本の社会保障給付を経済力がめぐらしく拡充することによるものの一環として、75歳以上の医療費2

倍化の中止・撤回を政策提唱しています。

税は社会保障に

した。またその時の私が心配ですか」